

緑地を楽しむ本

『じよやのかね』

とうごう なりさ さく
福音館書店



おおみそかの夜、ちゃんと起きていられたら、ぼくはおとうさんに「じよやのかね」をつくために、お寺につれていってもらおう約束。「ねむくなんてない。だって まよなかの 12じになったら、あたらしいとしがくるんだ。ぜったいみのがさないぞ。」

子どもの頃、大晦日の夜から伊勢神宮に出かけ、初詣をしたことを思い出しました。そうそう、「みのがさないぞ」の気持ちわかります、わかります。版画を用いたモノクロの絵本なので、夜の暗さと厳かな空気が伝わります。

緑地周辺の小さな寺社の大晦日もこの絵本のよ様に静かな感じでしょうか・・・。

よいお歳をお迎えください。

(遠藤)